

平成 27 年度 第 1 回逗子市文化振興基本計画策定・推進会議 議事録【確定版】

- 日時 平成 27 年 5 月 13 日（水）15 時 10 分～17 時 20 分
- 場所 市役所 5 階 第 6 会議室
- 出席者 （敬称略、順不同）
（会長）渡邊忠貴、（副会長）森谷紀子、秋山寿子、森川いつみ、石井昭子、若狭秀巳
谷道行弘、橋本伸江、川嶋名津子
- 欠席者 磯野昌子、小野田和幸
- 事務局 阿万野文化スポーツ課長 黒羽係長、鬼原主事
- 会議の公開・非公開 公開
- 傍聴人の有無 0 人
- 記録 鬼原 平成 27 年 5 月 13 日作成

- 議題（1）総合計画に係る平成 26 年度実施計画進捗管理（自己評価）に関する意見聴取
- （2）逗子市文化振興基本計画＜平成 26 年度改訂版＞について（報告）
- （3）『（仮称）逗子アーカイブス』の推進について
- （4）その他
 - ・逗子アートフェスティバル 2015 の進捗状況について
 - ・新メンバーの公募について

■事前配布資料

- ・資料 1 総合計画に係る平成 26 年度実施計画進捗管理（自己評価）に関する意見聴取について

■当日配布資料

- ・会議次第
- ・メンバー名簿
- ・資料 1 （追加）総合計画実施計画進捗管理表
- ・資料 2 逗子市文化振興基本計画＜平成 26 年度改訂版＞
- ・資料 3 の 1 【報告】藤沢市文書館 専門員ヒアリング
- ・資料 3 の 2 『（仮称）逗子アーカイブス』の推進について（案）
- ・資料 4 逗子アートフェスティバル 事業概要、市民企画・ボランティア募集

■議事

1 開 会

・・・配布資料の確認・・・

- ・・・新メンバーの紹介・・・
- ・・・出欠の確認・・・
- ・・・事務局の紹介・・・

2 議 題

1. 総合計画に係る平成 26 年度実施計画進捗管理（自己評価）に関する意見聴取」について

〈会長〉

本日の会議内容として、3つのテーマがある。

第一は、平成 26 年度の総合計画実施計画にかかる所管課の自己評価に関する意見聴取

第二は、逗子市文化振興計画＜平成 26 年度改訂版＞の報告

第三は、長く懸案となっている『(仮称) 逗子アーカイブスの構築』について

その他としては、逗子アートフェスティバル 2015 についての報告 を予定している。

それでは、議題の 1 「総合計画に係る平成 26 年度実施計画進捗管理（自己評価）に関する意見聴取」について、事務局より説明をお願いします。

- ・・・事務局説明（資料 1、資料 1 追加）「まちなかアカデミー創成事業」・・・

〈会長〉

事務局からの説明について、何かご質問・ご意見等ありますか。

〈川嶋メンバー〉

評価の段階づけはどのようにするのか。

〈事務局（係長）〉

達成できたか、出来なかったかの 2 段階である。

〈会長〉

目標について数値化されているのか確認をしたが、数値による目標はないとのことである。

〈石井メンバー〉

NPO 化して市民の手により動き始めたことはよいことだと思うが、ホームページを見たところ、故及川氏が連絡先になっていたのも、まちなかアカデミー側に知らせてほしい。また、ホームページを検索するのに時間がかかった。広報は、発信する側は浸透していると思いがちだが、実際に浸透しているかは疑問である。発信はしているが、イベント単体の浸透はあってもそれがまちなかアカデミー事業によるものという部分については、浸透しているとは言えないのではないか。

〈事務局（係長）〉

26 年度は、学部講座は 9 講座実施している。またスピンオフ的取り組みである「フェアトレードタウンの会」を実施したとのことだ。池子の森自然公園を活用した日米交流に係る市民協働事業の提案もしたと聞いている。

〈川嶋メンバー〉

300,000 円の委託料はホームページと紹介用パンフレットの作成に使ったということか。

〈事務局（係長）〉

当初はホームページ運営のための委託料であったが、当初の見込みより安価でホームページ運用ができたこと、ホームページにアクセスできない方向けに紙媒体が必要であることから、パンフレットも作成したとのことである。

〈石井メンバー〉

「まちなか交流サイト」というのを開いてみたが、私信的な内容であったが。

〈川嶋メンバー〉

リニューアルする前のホームページがまだ残っているので、それを見たのだと思う。

〈秋山メンバー〉

まちなかアカデミーは、高齢者には本当に意味がよくわからない。アートフェスティバルは前より意味が分かるようになったが、まちなかアカデミーは若年層をターゲットにしているためか、分からない。

〈事務局（係長）〉

お子さんのいる若い世代をターゲットにしたプログラムが多いようだ。食と文化のプログラムなど幅広い人に向けた企画も開催していて、人気があるようだ。

〈会長〉

確かに、普通の市民には見えていない部分が多いと思う。見える化が必要だと思う。自己評価について適切と思う方は挙手願います。

・・・過半数の挙手・・・

評価は認められたとする。次の事業の説明を事務局より願います。

・・・事務局説明（資料1、資料1追加）「文化プラザホール管理運営事業」・・・

〈会長〉

「文化プラザホール管理運営事業」に関する事務局からの説明について、何かご質問・ご意見等ありますか。

〈谷道メンバー〉

工事や大規模修繕について、26年度について行われたか。

〈事務局（係長）〉

いくつか実施したが、最たるものは防潮堤設置工事を実施した。災害時に避難所となっている高潮や津波などによる文化プラザホールの機能の停止や破壊を防ぐために実施した。27年度については中央監視システムの改修工事を行う予定である。ホールは26年度が指定管理者による管理になったが、指定管理者により照明のLED化を進められている。

〈会長〉

指定管理者に管理が移行して、変化したことはあるか。

〈森川メンバー〉

自主事業の内容が非常に趣向を凝らしたものになっている。市民の利用についても利用しやすさが高まったという声は聞くが、利用者アンケートは行っているのか。

〈事務局（係長）〉

企画者や利用者に対するアンケートや投書箱設置などを行って、毎月のモニタリングで報告を受けている。

〈森谷メンバー〉

投書箱はどこにあるか。

〈事務局（係長）〉

図書館側の入口と受付に設置されている。

〈森谷メンバー〉

私は、利用しにくくなったと感じている。利用者アンケートも特に依頼されなかった。昨年度と今年度で同じ内容のコンサートを実施したが、費用のかかり方が全く異なり、負担が多くなった。料金そのものは変わっていないが、備品利用等区分が変わったことで負担が増えたのだと思う。また、全体的に縦割りの管理の仕方になっている。直営の時は多少の融通がきいたことも、ルールに厳しく事務的に進められることが多い。

〈秋山メンバー〉

私も利用したが、備品関係の単価の出し方がかなり細かくなった。

〈若狭メンバー〉

指定管理者としては、管理者責任を負うことを避けるため、ルールについて厳しく対応をしているのだと思う。それが市民サービスの低下につながっているのではないか。こうした事態を市としてはどう考えているか。

〈事務局（係長）〉

もともと指定管理制度に移行する際に、サービス内容など大きく変化がないように移行するよう指定管理者にも求めていた。今日伺ったことは、今後のモニタリングで指定管理者に対して指摘していく。

〈会長〉

指定管理者がそういう姿勢であると、ホールから市民の心が離れていき、ますます関係が悪化する恐れがある。

〈森谷メンバー〉

せっかく毎月モニタリングをしているなら、ただ報告をきくだけでなく、そういう部分の改善につながるようなものにしてほしい。

〈石井メンバー〉

今回劇団で初めてさざなみホールを使用することになったのだが、階段上の客席を作成しようかと検討していてホールに相談した時、話し合いのセッティングをしてくれ、具体的な良策は得られなかったが、舞台スタッフ立会いのもと話し合いがもてたので、そのことは良かった。

〈若狭メンバー〉

稼働率の計算はどのように算出しているのか。

〈事務局（係長）〉

件数ではなく、その日に利用があったか無かったかで利用率を算出している。

〈石井メンバー〉

年度目標の現状値が平成 21 年度の数値が記されているが、どのようにしているのか。

〈事務局（係長）〉

「実際に使われた日数/利用可能な日数」で算出している。21 年度の実績値をもとに、その後の目標を設定している。

〈橋本メンバー〉

ギャラリーの稼働率は算出しているか。

〈事務局（係長）〉

算出している。ほぼ 6 割の稼働率である。

〈会長〉

自己評価について適切と思う方は挙手願います。

・・・過半数の挙手・・・

評価は認められたとする。但し意見として、指定管理者は市民の生の意見をもっと吸い上げるこ

とと、市はモニタリングできちんと指定管理者の管理をすることを付してほしい。
次の事業の説明を事務局より願います。

・・・事務局説明（資料1、資料1追加）「文化振興事業」・・・

〈会長〉

「文化振興事業」に関する事務局からの説明について、何かご質問・ご意見等ありますか。

〈谷道メンバー〉

目標の軸がずれているのであれば、評価のしようがないのではないか。

〈橋本メンバー〉

本来の目標に沿って事業の実施が出来ていないのであれば、その通りの意見しか出せない。

〈森谷メンバー〉

目標に設定していた「アンケート実施」については出来なかったが、それ以外の「逗子アートフェスティバル」等については成功しているということか。

〈会長〉

「逗子アートフェスティバル」については、全体の調査評価は実施し良い結果であったが、個々の企画についてはアンケートができたものとできなかったものがある。

〈若狭メンバー〉

どれだけの人が集まり、満足度があったかということのほかに、質の部分がどうであったかが重要ではないか。

〈事務局（係長）〉

来場者数と満足度で評価はできるが、文化芸術の質の部分の評価は非常に難しいものがある。評価する人や立ち位置によって質の評価は全く異なってくる。

〈会長〉

逗子アートフェスティバル2014の集客について、目標値40,000人に対して53,000人を得た。ただ、個々のイベントについての評価については難しいところがあった。

〈若狭メンバー〉

出展者の満足度というのが大変重要になると思う。

〈川嶋メンバー〉

要は、地域文化の振興について事業を実施したという点からすれば、評価は適切と考えるのがよいのではないか。

〈会長〉

自己評価について適切としてよろしいか。

・・・全会異議なし・・・

2. 逗子市文化振興基本計画＜平成26年度改訂版＞について（報告）

〈会長〉

続いて議題の2「逗子市文化振興基本計画＜平成26年度改訂版＞」について、事務局から報告を願います。

・・・事務局報告（資料2）・・・

<会長>

報告に補足すると、39 頁には「劇場法」、45 頁には「新総合計画」、52 頁、55 頁に改訂前計画の策定に関わったメンバー一覧及び今回の改訂に関わった推進会議メンバーの一覧が記されている。とのことである。

3. 『(仮称) 逗子アーカイブス』の推進について

<会長>

続いて議題の3 『(仮称) 逗子アーカイブス』の推進について、事務局から説明をお願いします。

- ・・・事務局説明（資料3の1、3の2）・・・
- ・・・追加資料配布（会長より提出）・・・

<会長>

藤沢の話では、専門員でなければ出来ないということになるようだが。

<事務局（係長）>

藤沢の場合は、行政中心での取り組みであるが、逗子は逗子でどうなるか、まずフレームワークを作る必要があると考えている。

<川嶋メンバー>

チームメンバーは何をすればいいのか。

<会長>

その部分から、チームメンバーが考えなければならないということだ。何もないところから考えなければならない、現在は白紙の状態ということだ。

<川嶋メンバー>

行政としてはこういう考えがある、といった、たたき台的なものがあった方がよいのではないか。

<事務局（係長）>

これまでずっと『(仮称) 逗子アーカイブス』が独り歩きして、中身が全くないというのが現状である。アーカイブスについての思いが個人によって全く異なるので、まずその部分の平準化が必要になる。また、このことが喫緊の課題であるのは、史料を収集している方が亡くなられたりすることで、実際に資料が散逸してしまうことが恐れが現実的になってきているからだ。

<会長>

何らかの後ろ盾がなければ、「プロジェクトの推進」が実際にできないと思う。

<若狭メンバー>

故及川氏が保存しようとしていたものはどんなものか。

<事務局（係長）>

黒田先生が保存されていた史料で、手紙や文書など様々な種類の史料があった。

<川嶋メンバー>

所管課としての考え方を明確にすることと、関係所管課（社会教育課）との調整が必要ではないか。

<若狭メンバー>

一つ大きな枠を捉えて、進行される方がよいと思う。

<森谷メンバー>

史料の保管は、施設を作らなければならないということから困難だと思う。また選別において、今回の報告では専門員が必要ということだが、それよりまずは故及川氏の史料を市民の手で整理

していくなど、市民の手で行うということを考えてはどうか。

〈若狭メンバー〉

専門家の目と市民の目では、保存するものに対する意識が異なる。保存した史料の活用目的を市民レベルの目で見えたものに据える必要があるのではないか。

〈森谷メンバー〉

推進会議でできることは「ゴール」と「目的」を決めることだと思う。

〈会長〉

チームについて、市の方で何か参考になるような資料はないのか。

〈事務局（係長）〉

この『(仮称) 逗子アーカイブス』にかかるものはないが、かつての市史編纂室での基準や文化財に関する基準などについては示せると思う。

〈森谷メンバー〉

葉山町の事例として、関東学院の学生が風習などを町民に聴き周りまとめたというものがあるが、それも意味アーカイブスになるということになる。またあまりにも個人的なものは外すべきだと思う。市の歴史に関わるものであればよいと思う。

〈若狭メンバー〉

既にある図書でも、逗子の過去の写真集などはアーカイブスに入れるべきだと思う。

〈会長〉

推進会議として協力したいという気持ちはあるので、プロジェクトのゴール・目標についてそれぞれの意見を持ち寄って、この会議で次回再度話し合いを持ちたいがいかかが。その中で、メンバーはどうするか、アドバイザーはどうするべきか、なにをすべきかなど、おおよそ見えてくると思うが。ブレインストーミング的な形で話し合いたいと思うので、ご協力願いたい。

4. その他

〈会長〉

続いて議題の4「その他」について、資料4に示したとおり、逗子アートフェスティバル 2015 がスタートした。「春の逗子海岸映画祭、秋のまちなかアートフェスティバル」をキャッチフレーズに行っていく。秋のアートフェスティバルは市民企画、逗子市文化祭、ホール企画のほか提携事業など全7企画を予定している。

現在最大の問題はボランティアで、単に会場案内するだけでなく、コンシェルジュ的に動ける人を集めたり、育成したりしていきたいと考えている。

また市民企画についても募集している。

〈事務局（課長）〉

平成27年4月1日の逗子市市民参加条例の改正に基づき、推進会議の市民メンバーについて2名、広報ずし7月号で公募することを報告する。

〈石井メンバー〉

名簿に事務局メンバーも記載してほしい。また、まちなかアカデミーに生涯学習体験工房の整備はどのようになっているか教えてほしい。

〈川嶋メンバー〉

市民協働提案事業で提案が出ている。

〈会長〉

以上で本日の議事は全て終了する。

3 閉 会

〈事務局（課長）〉

次回会議については、8月頃を予定しています。日程調整はあらためて連絡する。

以上